

内 科 学 (1)

Internal Medicine (1)

教 授	小林 正	Masashi Kobayashi
助 教 授	杉山 英二	Eiji Sugiyama
講 師	丸山 宗治	Muneharu Maruyama
講 師	浦風 雅春	Masaharu Urakaze
講 師	多喜 博文	Hirofumi Taki
講 師	松井 祥子	Shoko Matsui
助 手	山崎 勝也	Katsuya Yamazaki
助 手	佐藤 啓	Akira Sato
助 手	藤下 隆	Takashi Fujishita
助 手	藤田 聡	Tadashi Fujita
助手(前)	菓子井達彦	Tatsuhiko Kashii
助手(研究休職)	林 龍二	Ryuji Hayashi

◆ 著 書

- 1) 小林 正: 病態生理. 「糖尿病」花房利昭編, 47-55, 最新医学社, 大阪, 2004.
- 2) 小林 正: インスリン受容体異常症. 「糖尿病診療事典」繁田幸男他編, 57-58, 医学書院, 東京, 2004.
- 3) 小林 正: インスリン抗体. 「糖尿病診療事典」繁田幸男他編, 73, 医学書院, 東京, 2004.
- 4) 小林 正: インスリン療法の適応. 「糖尿病診療事典」繁田幸男他編, 200, 医学書院, 東京, 2004.
- 5) 小林 正: インスリン抵抗性. 「糖尿病・代謝症候群—state of arts 2004-2006—」門脇 孝他編, 9-12, 医歯薬出版株式会社, 東京, 2004.
- 6) 小林 正: CoDiCを使用した糖尿病データマネジメント. 「分子糖尿病学の進歩—基礎から臨床まで—」清野 進他編, 130-137, 金原出版, 東京, 2004.
- 7) 小林 正, 山崎勝也: インスリン治療. 「科学的根拠に基づく糖尿病診療ガイドライン」日本糖尿病学会編, 47-56, 南江堂, 東京, 2004.
- 8) 山崎勝也: インスリン療法—スムーズなインスリン導入に向けて—. 「症例から学ぶEBM時代の糖尿病診療」野田光彦編, 34-43, 医学書院, 東京, 2004.
- 9) 三輪敏郎, 菓子井達彦, 小田寛文, 藤下 隆, 小林 正, 野村邦紀, 瀬戸 光, 松成一朗: Gefitinib (イレッサ®) を用いた非小細胞肺癌化学療法効果判定におけるFDG-PETスキャンの有用性. 「Digital Medicine」23-25, デジタルメディスン社, 東京, 2004.

◆ 原 著

- 1) 小林 正, 加来浩平, 河盛隆造, 岩本安彦, 清野 裕: 肥満を伴う日本人2型糖尿病患者に対するグリメピリドの臨床的評価. 糖尿病, 47:431-437, 2004.
- 2) 小林 正, 加来浩平, 河盛隆造, 岩本安彦, 清野 裕: 2型糖尿病患者に対するグリメピリド1日1回投与による臨床効果. 糖尿病, 47:727-735, 2004.
- 3) Sasaoka T., Wada T., Fukui K., Murakami S., Ishihara H., Suzuki R., Tobe K., Kadowaki T., and Kobayashi M.: SH2-containing inositol phosphatase 2 predominantly regulates Akt2, and not Akt1, phosphorylation at the plasma membrane in response to insulin in 3T3-L1 adipocytes. J Biol Chem, 279:14835-14843, 2004.
- 4) Usui I., Takano A., Haruta T., and Kobayashi M.: Originating mechanisms of growth hormone-induced cellular insulin resistance. Clin Pediatr Endocrinol, 13:31-36, 2004.
- 5) Usui I., Imamura T., Satoh H., Huang J., Babendure J.L., Hupfeld C.J., and Olefsky J.M.: GRK2 is an endogenous protein inhibitor of the insulin signaling pathway for glucose transport stimulation. EMBO J, 23:2821-2829, 2004.
- 6) Usui I., Imamura T., Huang J., Satoh H., Sheoy S.K., Lefkowitz R.J., Hupfeld C.J., and Olefsky J.M.: β -arrestin-1 competitively inhibits insulin-induced ubiquitination and degradation of insulin receptor substrate 1. Mol Cell Biol, 24:8929-8937, 2004.
- 7) Murakami S., Sasaoka T., Wada T., Fukui K., Nagira K., Ishihara H., Usui I., and Kobayashi M.: Impact of src homology 2-containing inositol 5'-phosphatase 2 on the regulation of insulin signaling leading to protein synthesis in 3T3-L1 adipocytes cultured with excess amino acids. Endocrinology, 145:3215-3223, 2004.
- 8) Yamaguchi M., Kawabata Y., Yamazaki K., Kobayashi M., and Ito T.: Proposal of blood-collecting needle approach to semi-invasive method. Diabetes Res Clin Pract, 66:S179-S183, 2004.
- 9) Huang J., Hsia S.H., Imamura T., Usui

- I., and Olefsky J.M.: Annexin II is a thiazolidinedione-responsive gene involved in insulin-induced glucose transporter isoform 4 translocation in 3T3-L1 adipocytes. *Endocrinology*, 145:1579-1586, 2004.
- 10) Satoh H., Nguyen M.T., Miles P.D., Imamura T., Usui I., and Olefsky J.M.: Adenovirus-mediated chronic "hyper-resistinemia" leads to in vivo insulin resistance in normal rats. *J Clin Invest*, 114:224-231, 2004.
- 11) Ugi S., Imamura T., Maegawa H., Eagawa K., Yoshizaki T., Shi K., Obata T., Ebina Y., Kashiwagi A., and Olefsky J.M.: Protein phosphatase 2A negatively regulates insulin's metabolic signaling pathway by inhibiting Akt (protein kinase B) activity in 3T3-L1 adipocytes. *Mol Cell Biol*, 24:8778-8789, 2004.
- 12) Yoshizaki T., Maegawa H., Eagawa K., Ugi S., Nishio Y., Imamura T., Kobayashi M., Tamura S., Olefsky J.M., and Kashiwagi A.: Protein phosphatase-2C alpha as a positive regulator of insulin sensitivity through direct activation of phosphatidylinositol 3-kinase in 3T3-L1 adipocytes. *J Biol Chem*, 279:22715-22726, 2004.
- ◆ 症例報告
- 1) 岩田 実, 山本由紀, 藤田 聡, 林 龍二, 五十嵐保史, 佐藤 啓, 笹岡利安, 丸山宗治, 小林 正, 松井一裕: 気管支カルチノイドによる異所性ACTH産生Cushing症候群の1例. *日本内科学会雑誌*, 93:164-166, 2004.
- 2) 川原順子, 多喜博文, 篠田晃一郎, 蓑 毅峰, 杉山英二, 小林 正: リポ化ステロイドが有効であった成人発症ステイル病の一例. *中部リウマチ*, 35:36-37, 2004.
- 3) 多喜博文, 蓑 毅峰, 篠田晃一郎, 朴木博幸, 杉山英二, 小林 正: 間質性肺炎を合併し慢性の経過をたどったANCA関連血管炎の2例. *中部リウマチ*, 35:72-73, 2004.
- 4) 松下 功, 宇月美和, 木村友厚, 杉山英二: MTX療法中に多発性リウマトイド結節を生じた関節リウマチの一例. *中部リウマチ*, 35:105-107, 2004.
- ◆ 総 説
- 1) 小林 正: 糖尿病の薬物療法—インスリンによる治療—. *糖尿病*2005, 119-123, 2004.
- 2) 小林 正: オーバービュー. 臨床に直結する内分泌・代謝疾患治療のエビデンス, 130-131, 2004.
- 3) 小林 正: スルホニル尿素 (SU) 薬. *KEWORD 糖尿病*, 2:160-161, 2004.
- 4) 薄井 勲, 小林 正, 山城清二: メタボリックシンドロームの真実と実際. *メタボリックシンドロームの本体とそのメカニズム—遊離脂肪酸の関与と意義: 脂質代謝と糖代謝の相互関係とは?—*. 治療, 86:35-43, 2004.
- 5) 和田 努, 笹岡利安: Aktとインスリン作用. *別冊医学のあゆみ 糖尿病・代謝症候群state of art 2004-2006*, 139-141, 2004.
- 6) 鈴木 進, 岡 芳知, 門脇 孝, 金塚 東, 葛谷 健, 小林 正, 三家登喜夫, 清野 裕, 南條輝志男: ミトコンドリアDNA異常による糖尿病調査報告. *糖尿病*, 47:481-487, 2004.
- 7) 田中三千雄, 薄田勝男, 折原正周, 小尾龍右, 山崎勝也, 坂東 正: MSTによる内視鏡所見と“慢性胃炎”(1)MSTを用いた“慢性胃炎”の記録. *臨床消化器内科*, 19:685-694, 2004.
- ◆ 学会報告
- 1) 杉山英二: 関節リウマチ—薬物療法の最近の進歩—. 第192回日本内科学会北陸地方会 (生涯教育講演会), 2004, 3, 富山.
- 2) 松井祥子, 菓子井達彦, 丸山宗治, 小林 正: 在宅酸素療法管理支援システムの構築. 第44回日本呼吸器学会学術講演会, 2004, 3, 東京.
- 3) 小田寛文, 三輪敏郎, 藤下 隆, 菓子井達彦, 小林 正: 肺癌細胞株におけるestrogen receptor bの発現とgefitinibの効果に与える影響の検討. 第44回日本呼吸器学会学術講演会, 2004, 3, 東京.
- 4) 河岸由紀男, 鳴河宗聡, 藤田 聡, 藤下 隆, 三輪敏郎, 小田寛文, 荒井信貴, 松井祥子, 菓子井達彦, 丸山宗治, 小林 正: 小細胞肺癌患者の化学療法による血清Na値への影響と食欲不振の関連. 第44回日本呼吸器学会学術講演会, 2004, 3, 東京.
- 5) 山田 徹, 丸山宗治, 藤田 聡, 宮林弘太郎, 篠田千恵, 小田寛文, 河岸由紀男, 三輪敏郎, 藤下 隆, 菓子井達彦, 松井祥子, 小林 正: A549細胞における放射線照射によるFasのupregulationとその機序. 第44回日本呼吸器学会学術講演会, 2004, 3, 東京.
- 6) 岩田 実, 笹岡利安, 佐藤 啓, 宇野立人, 山崎勝也, 浦風雅春, 小林 正: 出産後にPTU誘発性のANCA関連血管炎を合併したバセドウ病の一例. 第14回臨床内分泌代謝 update, 2004, 3, 岐阜.
- 7) 福島泰男, 金谷由紀子, 川原順子, 宇野立人,

- 松井祥子, 多喜博文, 杉山英二, 小林 正: 臨床的にBOOP/COPの合併が考えられた関節リウマチの1例. 第192回日本内科学会北陸地方会, 2004, 3, 氷見.
- 8) 多喜博文, 杉山英二, 松下 功, 蓑 毅峰, 篠田晃一郎, 松井祥子, 引網宏彰, 朴木博幸, 神原健太, 森田裕司, 長田龍介, 下条竜一, 木村友厚, 小林 正: 当院におけるリウマチ教育短期教育検診入院のとりくみ-第2報-. 第48回日本リウマチ学会総会・学術集会, 2004, 4, 岡山.
- 9) 松井祥子, 杉山英二, 多喜博文, 篠田晃一郎, 蓑 毅峰, 澤崎茂樹, 小林 正, 正木康史, 菅井 進: Mikulicz-Sjögren's syndromeの臨床的検討. 第48回日本リウマチ学会総会・学術集会, 2004, 4, 岡山.
- 10) 松下 功, 杉山英二, 多喜博文, 松井祥子, 蓑 毅峰, 篠田晃一郎, 引網宏彰, 森田裕司, 長田龍介, 下条竜一, 朴木博幸, 神原健太, 小林 正, 木村友厚: 当院におけるリウマチ教育短期教育検診入院のとりくみ-第1報-. 第48回日本リウマチ学会総会・学術集会, 2004, 4, 岡山.
- 11) 本莊 茂, 金粕浩一, 多喜博文: 関節リウマチに対するレフルノミドの効果と副作用の発現に関する検討. 第48回日本リウマチ学会総会・学術集会, 2004, 4, 岡山.
- 12) 笹岡利安, 青田梨奈, 和田 努, 福居和人, 村上史峰, 岩田 実, 平谷和幸, 薄井 勲, 石原 元, 小林 正: 血管平滑筋細胞でのインスリン作用にTNF α が及ぼす影響. 第47回日本糖尿病学会年次学術集会, 2004, 5, 東京.
- 13) 山崎勝也, 小林 正, 高木廣文: 糖尿病データマネジメント研究会: CoDiCを使用した多施設での糖尿病臨床データの解析(第5報)-多施設でのデータ解析-. 第47回日本糖尿病学会年次学術集会, 2004, 5, 東京.
- 14) 平谷和幸, 春田哲郎, 薄井 勲, 岩田 実, 石塚 健, 賀 剣英, 笹岡利安, 小林 正: IRS-1の細胞内局在変化に与えるセリンリン酸化の役割についての検討. 第47回日本糖尿病学会年次学術集会, 2004, 5, 東京.
- 15) 薄井 勲, 今村武史, 小林 正: β -arrestin-1はIRS-1のユビキチン化とdegradationを抑制しインスリンシグナルを正に制御する. 第47回日本糖尿病学会年次学術集会, 2004, 5, 東京.
- 16) 岩田 実, 笹岡利安, 佐藤 啓, 宇野立人, 薄井 勲, 山崎勝也, 浦風雅春, 小林 正, 赤川直次: 多発性骨折を合併したpreclinical cushing病の一例. 第47回日本糖尿病学会年次学術集会, 2004, 5, 東京.
- 17) 岩田 実, 薄井 勲, 石塚 健, 平谷和幸, 川原順子, 宇野立人, 笹岡利安, 小林 正, 赤川直次: SU剤又はインスリン製剤との併用におけるビッグアニド剤とチアゾリジン誘導体の効果の比較. 第47回日本糖尿病学会年次学術集会, 2004, 5, 東京.
- 18) 和田 努, 笹岡利安, 石原 元, 村上史峰, 福居和人, 薄井 勲, 小林 正: SHIP2はインスリン刺激によりlipid raftに移行する. 第47回日本糖尿病学会年次学術集会, 2004, 5, 東京.
- 19) 村上史峰, 笹岡利安, 和田 努, 福居和人, 柳楽清文, 石原 元, 平谷和幸, 薄井 勲, 小林 正: インスリンによる蛋白合成作用へのSHIP2の関与に及ぼすアミノ酸の影響. 第47回日本糖尿病学会年次学術集会, 2004, 5, 東京.
- 20) 小橋親晃, 浦風雅春, 岸田みか, 木林悦子, 小林英毅, 木原進士, 船橋 徹, 佐藤 啓, 山崎勝也, 小林 正: アディポネクチンのIL-8産生抑制作用とその機序の検討-血管内皮細胞でのI κ B- α およびAktのリン酸化に及ぼす影響-. 第47回日本糖尿病学会年次学術集会, 2004, 5, 東京.
- 21) 石塚 健, 薄井 勲, 岩田 実, 平谷和幸, 賀 剣英, 金谷由紀子, 笹岡利安, 小林 正: チアゾリジン誘導体は様々なインスリン抵抗性惹起物質によるSOCSの発現誘導を抑制する. 第47回日本糖尿病学会年次学術集会, 2004, 5, 東京.
- 22) 福居和人, 笹岡利安, 石原 元, 和田 努, 村上史峰, 柳楽清文, 薄井 勲, 小林 正: 肝でのSHIP2の発現がインスリン作用に及ぼす影響の検討. 第47回日本糖尿病学会年次学術集会, 2004, 5, 東京.
- 23) 木林悦子, 浦風雅春, 小橋親晃, 岸田みか, 佐藤 啓, 山崎勝也, 小林 正: ヒト血管内皮細胞におけるC-reactive proteinのIL-8産生に及ぼすNK104の抑制作用. 第47回日本糖尿病学会年次学術集会, 2004, 5, 東京.
- 24) 賀 剣英, 薄井 勲, 平谷和幸, 石塚 健, 岩田 実, 金谷由紀子, 笹岡利安, 小林 正: インターロイキン-1 α (IL-1 α)によるインスリン抵抗性の機序. 第47回日本糖尿病学会年次学術集会, 2004, 5, 東京.
- 25) 柳楽清文, 笹岡利安, 和田 努, 村上史峰, 福居和人, 平谷和幸, 薄井 勲, 齋藤 滋, 小林 正: エストロゲンとTNF α が脂肪細胞のインスリン作用に及ぼす影響の検討. 第47回日本糖尿病学会

- 年次学術集会, 2004, 5, 東京.
- 26) 香川正太, 笹岡利安, 石原 元, 和田 努, 村上史峰, 福居和人, 柳楽清文, 小林 正: 日本人2型糖尿病患者におけるSH2 domain containing inositol 5'-phosphatase (SHIP2) の遺伝子多型の解析. 第47回日本糖尿病学会年次学術集会, 2004, 5, 東京.
- 27) 藤下 隆, 鳴河宗聡, 金谷由紀子, 三輪敏郎, 河岸由紀男, 藤田 聡, 菓子井達彦, 丸山宗治, 小林 正, 豊島心一郎, 野村邦紀: 照射野外の対側肺にも発症が疑われた放射線肺臓炎の2症例. 第53回日本呼吸器学会北陸地方会, 2004, 5, 金沢.
- 28) 山口昌樹, 神戸成典, 山崎勝也, 小林 正, 高田英治, 本田宣昭, 筒井宏明, 総田長生: データマイニングを用いた血糖値推定における体調変数の効果. 第43回日本ME学会大会, 2004, 5, 金沢.
- 29) 菓子井達彦, 藤下 隆, 小林 正, 柴田和彦, 渡辺和良, 白崎浩樹, 石浦嘉久, 上田暁子, 水口雅之, 市川由加里, 中積泰人, 笠原寿郎, 曾根 崇, 木村英晴, 良元章浩, 早稲田優子, 堀 彰宏, 北 俊之, 明 茂治, 藤村政樹, 中尾眞二: 化学療法未施行非小細胞肺癌に対するゲフィチニブの臨床第II相試験—第2報—. 第50回日本肺癌学会北陸地方会, 2004, 6, 富山.
- 30) 三輪敏郎, 鳴河宗聡, 河岸由紀男, 小田寛文, 藤田 聡, 藤下 隆, 荒井信貴, 松井祥子, 菓子井達彦, 丸山宗治, 小林 正: 高齢者におけるVinorelbine長期投与例の臨床的検討. 第50回日本肺癌学会北陸地方会, 2004, 6, 富山.
- 31) 小田寛文, 菓子井達彦, 山田 徹, 鳴河宗聡, 宮林弘太郎, 篠田千恵, 河岸由紀男, 三輪敏郎, 藤田 聡, 藤下 隆, 荒井信貴, 松井祥子, 丸山宗治, 小林 正: ヒト非小細胞肺癌細胞株におけるestrogen receptor (ER) の発現とgefitinib感受性の検討. 第50回日本肺癌学会北陸地方会, 2004, 6, 富山.
- 32) 仙田一貴, 土岐善紀, 一木克之, 三崎拓郎, 小田寛文, 藤田 聡, 菓子井達彦, 小林 正: 心膜合併切除術に対する自己組織修復の1例. 第50回日本肺癌学会北陸地方会, 2004, 6, 富山.
- 33) 土岐善紀, 一木克之, 仙田一貴, 三崎拓郎, 薄田勝男, 菓子井達彦, 小林 正: 完全胸腔鏡下肺葉切除術の周術期評価. 第50回日本肺癌学会北陸地方会, 2004, 6, 富山.
- 34) 宇野立人, 浦風雅春, 川原順子, 和田 努, 石塚 健, 岩田 実, 佐藤 啓, 山崎勝也, 笹岡利安, 小林 正, 長田拓哉: 転移性脳腫瘍にて発見された甲状腺微小乳頭癌の一例. 第77回日本内分泌学会学術総会, 2004, 6, 京都.
- 35) 木林悦子, 浦風雅春, 小橋親晃, 岸田みか, 佐藤 啓, 山崎勝也, 小林 正: NK-104の抗炎症作用—NK104は血管内皮細胞でC-reactive proteinによるIL-8産生を抑制する—. 第23回内科からみた血管疾患研究会, 2004, 6, 東京.
- 36) 神原健太, 蓑 毅峰, 河岸由起男, 松井祥子, 多喜博文, 笹岡利安, 杉山英二, 小林 正, 加藤 勤: SLEの経過中に発症した甲状腺形質細胞腫の1例. 第193回日本内科学会北陸地方会, 2004, 6, 金沢.
- 37) 田尻和人, 清水幸裕, 折原正周, 峯村正美, 高原照美, 多喜博文, 常山幸一: 著明な胆道系酵素の上昇を伴ったアレルギー性肉芽腫性血管炎の1例. 第193回日本内科学会北陸地方会, 2004, 6, 金沢.
- 38) 多喜博文, 荒井信貴, 松井祥子, 川原順子, 淵上 龍, 蓑 毅峰, 篠田晃一郎, 杉山英二, 松下貴史, 小村一浩, 佐藤伸一, 小林 正: 抗PL-12抗体陽性抗アミノアシルtRNA合成酵素抗体症候群の1例. 第41回北陸臨床免疫・症例検討/研究会, 2004, 7, 金沢.
- 39) 山崎 夕, 原田修次, 早稲田洋平, 朝日寿実, 平田昌義, 太田正之, 伊藤博行, 福島俊洋, 杉山英二: 胆嚢炎、腸炎にて発症した全身性エリテマトーデスの1例. 第41回北陸臨床免疫・症例検討/研究会, 2004, 7, 金沢.
- 40) 吉田聖子, 油野久美, 高森映子, 村上 純, 平野克治, 三輪重治, 北 啓一朗, 加藤 勤, 高原照美, 神原健太, 河岸由紀男, 石澤 伸, 高橋博之, 常山幸一, 高野康雄: 呼吸不全・肝脾腫にて発症し, 骨髄浸潤を来たした血管内リンパ腫 (intravascular large B-cell lymphoma) の1例. 第22回日本血液学会北陸地方会, 2004, 7, 金沢.
- 41) 篠田晃一郎, Mohamed S.G.K., 杉山英二, 多喜博文, 蓑 毅峰, 朴木博幸, 小林 正, 宮原龍郎: IL-4による破骨細胞誘導抑制作用の基礎的検討 (cfos/NFAT発現抑制作用を中心に). 第22回日本骨代謝学会学術集会, 2004, 8, 大阪.
- 42) 杉山英二: 関節リウマチの新薬2004—今後登場する抗リウマチ剤を中心に—. 第16回中部リウマチ学会 (シンポジウム; 関節リウマチの新薬2004), 2004, 9, 名古屋.
- 43) 多喜博文, 篠田晃一郎, 澤崎茂樹, 荒屋 潤, 朴木久恵, 朴木博幸, 蓑 毅峰, 松井祥子, 河岸

- 由起男, 杉山英二, 小林 正: 当科で経験した膠原病関連びまん性肺出血の6例. 第16回中部リウマチ学会, 2004, 9, 名古屋.
- 44) 河岸由紀男, 篠田晃一郎, 蓑 毅峰, 松井祥子, 杉山英二, 多喜博文, 丸山宗治, 菓子井達彦, 小林 正: FDG-PET陽性の肺内リウマチ結節を認めた関節リウマチの4例. 第16回中部リウマチ学会, 2004, 9, 名古屋.
- 45) 篠田晃一郎, 杉山英二, 蓑 毅峰, 朴木博幸, 日野孝行, 多喜博文, 小林 正: 凝固第XIII因子活性の推移が治療効果判定指標として有用であった成人発症Henoch-Schönlein紫斑病の2例. 第16回中部リウマチ学会, 2004, 9, 名古屋.
- 46) 篠田晃一郎, 蓑 毅峰, 杉山英二, 朴木博幸, 澤崎茂樹, 多喜博文, 小林 正: 当科における関節リウマチに対するinfliximabの治療経験. 第16回中部リウマチ学会, 2004, 9, 名古屋.
- 47) 山崎 夕, 原田修次, 伊藤博行, 早稲田洋平, 朝日寿実, 平田昌義, 太田正之, 福島俊洋, 杉山英二: 胆嚢炎, 腸炎にて発症した全身性エリテマトーデスの1例. 第16回中部リウマチ学会, 2004, 9, 名古屋.
- 48) 朴木博幸, 篠田晃一郎, 多喜博文, 折原正周, 蓑 毅峰, 杉山英二, 小林 正: 白血病破砕性血管炎の皮膚組織像を呈し胆道系酵素の著明な上昇を認めたアレルギー性肉芽腫性血管炎の1例. 第16回中部リウマチ学会, 2004, 9, 名古屋.
- 49) 朴木久恵, 荒屋 潤, 安達康子, 堀 宏之, 高野敦子, 中林智之, 豊本貴嗣, 石澤 伸, 多喜博文: 好酸球性多発性筋炎の1例. 第16回中部リウマチ学会, 2004, 9, 名古屋.
- 50) 松下 功, 杉山英二, 多喜博文, 松井祥子, 蓑 毅峰, 篠田晃一郎, 引網宏彰, 長田龍介, 森田裕司, 下条竜一, 中村千恵子, 朴木博幸, 神原健太, 小林 正, 木村友厚: 当院におけるリウマチ教育検診入院について. 第16回中部リウマチ学会, 2004, 9, 名古屋.
- 51) 本莊 茂, 金粕浩一, 多喜博文: 関節リウマチに対するレフルノミドとインフリキシマブの安全性に関する検討. 第16回中部リウマチ学会, 2004, 9, 名古屋.
- 52) 多喜博文, 松井祥子, 杉山英二, 鳴河宗聡, 篠田晃一郎, 蓑 毅峰, 丸山宗治, 小林 正: 原発性シェーグレン症候群の経過中にびまん性肺出血を発症した1例. 第13回シェーグレン症候群研究会, 2004, 9, 佐賀.
- 53) 松井祥子, 多喜博文, 杉山英二, 小林 正, 正木康史, 菅井 進: びまん性肺疾患と自己免疫性膵炎を合併したミクリッツ病の2例. 第13回シェーグレン症候群研究会, 2004, 9, 佐賀.
- 54) 和田 努, 浦風雅春, 山崎勝也, 佐藤 啓, 岩田 実, 宇野立人, 小橋親晃, 薄井 勲, 笹岡利安, 小林 正: 著明な高HDL-C血症を呈した2型糖尿病の一例. 第70回糖尿病学会中部地方会, 2004, 9, 名古屋.
- 55) 菓子井達彦, 河岸由紀男, 小田寛文, 三輪敏郎, 藤田 聡, 藤下 隆, 荒井信貴, 松井祥子, 丸山宗治, 小林 正, 野村邦紀, 瀬戸 光: 非小細胞肺癌患者におけるFDG-PETスキャンを用いたgefitinibの治療効果判定の有用性. 第45回日本肺癌学会総会, 2004, 10, 横浜.
- 56) 多喜博文, 松井祥子, 篠田晃一郎, 蓑 毅峰, 杉山英二, 小林 正, 石澤 伸: 当科で経験したChurg-Strauss症候群5例の臨床的検討. 第24回日本サルコイドーシス/肉芽腫性疾患学会総会, 2004, 10, 京都.
- 57) 多喜博文, 篠田晃一郎, 朴木博幸, 蓑 毅峰, 杉山英二, 小林 正, 折原正周, 浅野幸恵, 石澤 伸, 小泉富美朝: 種々の消化器病変を有したアレルギー性肉芽腫性血管炎の1例. 第9回血管病理研究会, 2004, 10, 東京.
- 58) 佐藤 啓, 岸田みか, 小橋親晃, 岩田 実, 山崎勝也, 笹岡利安, 浦風雅春, 小林 正: 2型糖尿病患者における急性冠症候群発症例の臨床的検討. 第19回日本糖尿病合併症学会, 2004, 10, 横浜.
- 59) 小橋親晃, 浦風雅春, 岸田みか, 木林悦子, 小林英毅, 木原進士, 船橋 徹, 佐藤 啓, 山崎勝也, 小林 正: AdiponectinのI κ B- α -NF- κ B系とAMPK-Akt系のリン酸化に及ぼす影響—血管内皮細胞での検討—. 第19回日本糖尿病合併症学会, 2004, 10, 横浜.
- 60) 岸田みか, 笹岡利安, 平野恒治, 藤下 隆, 岩田 実, 山崎勝也, 佐藤 啓, 多喜博文, 浦風雅春, 小林 正: 亜急性甲状腺炎との鑑別に苦慮したバセドウ病合併慢性甲状腺炎の一例. 第4回日本内分泌学会北陸地方会, 2004, 10, 金沢.
- 61) 矢口沙織, 笹岡利安, 香川正太, 石原 元, 恒枝宏史, 村上史峰, 福居和人, 和田 努, 古林創史, 木村郁子, 小林 正: 日本人2型糖尿病患者でのSHIP2遺伝子多型がインスリン作用に及ぼす影響の解析. 第4回日本内分泌学会北陸地方会, 2004, 10, 金沢.
- 62) 多喜博文, 岩田 実, 鳴河宗聡, 蓑 毅峰, 篠

- 田晃一郎, 杉山英二, 小林 正: 著名な口渇と全身倦怠感を認め、尿崩症と下垂体前葉機能低下症を呈したシェーグレン症候群の一例. 第42回北陸臨床免疫・症例検討/研究会, 2004, 11, 金沢.
- 63) 中田真司, 酒本忠幸, 野崎和也, 関矢信康, 引網宏彰, 酒井信也, 島田 豊, 松井祥子, 杉山英二, 村上 純: 著明な高IgG4血症と一過性の肺病変を認めたMikulicz病の一例. 第42回北陸臨床免疫・症例検討/研究会, 2004, 11, 金沢.
- 64) 河岸由紀男, 丸山宗治, 宮林弘太郎, 三田晴久, 三輪敏郎, 荒井信貴, 菓子井達彦, 松井祥子, 小林 正: 簡易型呼気凝縮器 (Rtube) を用いた呼気凝縮水cys-LTsの検討. 第54回日本アレルギー学会総会, 2004, 11, 横浜.
- 65) 谷口正実, 東 憲孝, 河岸由紀男, 石井豊太, 三田晴久, 秋山一男: アスピリン喘息の特徴的病態と治療. 第54回日本アレルギー学会総会, 2004, 11, 横浜.
- 66) 河岸由紀男, 松井祥子, 神原健太, 鳴河宗聡, 藤田 聡, 藤下 隆, 荒井信貴, 丸山宗治, 小林 正, 村上 純, 加藤 勤: 不明熱から呼吸不全に進行したintravascular lymphomatosisの1例. 第54回日本呼吸器学会北陸地方会, 2004, 11, 福井.
- 67) 武部真理子, 藤下 隆, 岸田みか, 多喜博文, 鳴河宗聡, 河岸由紀男, 三輪敏郎, 藤田 聡, 松井祥子, 丸山宗治, 小林 正: FDG-PETが staging に有用と考えられた胸腺カルチノイドの1例. 第54回日本呼吸器学会北陸地方会, 2004, 11, 福井.
- 68) 山口哲司, 河岸由紀男, 松井祥子, 篠田晃一郎, 鳴河宗聡, 藤田 聡, 藤下 隆, 荒井信貴, 丸山宗治, 小林 正: メソトレキセート肺臓炎の合併が疑われたカリニ肺炎の1例. 第54回日本呼吸器学会北陸地方会, 2004, 11, 福井.
- 69) 薄井 勲, 今村 武, 石塚 健, 金谷由紀子, 賀 剣英, Bukhari, A., 笹岡利安, Olefsky, J. M., 小林 正: エンドセリン1によるインスリン抵抗性発症におけるGRK2の働き. 第16回分子糖尿病シンポジウム, 2004, 12, 宇部.
- 70) Shinoda C., Maruyama M., Fujishita T., Oda H., Miyabayashi K., Kashii T., Matsui S., and Kobayashi M.: Doxorubicin induces MRP1 in a small cell lung cancer cell line (SCLC), GLC4, through the activation of JNK mediated pathway. 第44回日本呼吸器学会学術講演会, 2004, 3, 東京.
- 71) Fukui K., Sasaoka T., Wada T., Murakami S., Nagira K., Usui I., Ishihara H., and Kobayashi M.: The liver specific inhibition of SHIP2 ameliorates insulin resistance in db/db diabetic mice. 2004 Keystone Symposium, 2004, 3, Banff, Canada.
- 72) Matsui S., Kashii T., Maruyama M., Kobayashi M., and Nakagawa H.: Telecare management system for home-oxygen therapy. 100th International Conference American Thoracic Society, 2004, 5, Orlando, Florida.
- 73) Kashii T., Yamamoto N., Takada Y., Negoro S., Matsui K., Horie Y., Takada M., Nakanishi Y., Kato T., and Fukuoka M.: A randomized phase II study of carboplatin / gemcitabine (CG) versus vinorelbine / gemcitabine (VG) in patients with advanced non-small cell lung cancer (NSCLC); mature results of West Japan Thoracic Oncology Group (WJTOG) 0104. 40th Annual Meeting of American Society of Clinical Oncology, 2004, 6, New Orleans.
- 74) Fujishita T., Kashii T., Miwa T., Oda H., Kobayashi M., Nomura K., Seto H., Matsunari I., and Hisada K.-I.: Evaluation of the response for gefitinib in patients with non-small cell lung cancer (NSCLC) using FDG-PET scan. 40th Annual Meeting of American Society of Clinical Oncology, 2004, 6, New Orleans.
- 75) Sasaoka T., Murakami S., Wada T., Fukui K., Nagira K., Ishihara H., Usui I., and Kobayashi M.: Impact of SHIP2 on the regulation of insulin signaling leading to protein synthesis in 3T3-L1 adipocytes cultured with excess amino acids. 64th Scientific Sessions of the American Diabetes Association, 2004, 6, Orlando, Florida.
- 76) Hiratani K., Haruta T., Kawahara J., Usui I., Sasaoka T., and Kobayashi M.: A role of mTOR in IRS-1 serine phosphorylation induced by JNK activation. 64th Scientific Sessions of the American Diabetes Association, 2004, 6, Orlando, Florida.
- 77) Usui I., Imamura T., Kobayashi M., and Olefsky J.M.: β -arrestin-1 competitively inhibits insulin-induced ubiquitination and

- degradation of insulin receptor substrate-1. 64th Scientific Sessions of the American Diabetes Association, 2004, 6, Orlando, Florida.
- 78) Kawahara J., Haruta T., Hiratani K., Takano A., Uno T., Iwata M., Usui I., and Kobayashi M.: Regulation of IRS-1 abilities to transmit insulin signals by the mTOR-dependent IRS-1 translocation. 64th Scientific Sessions of the American Diabetes Association, 2004, 6, Orlando, Florida.
- 79) Kobashi C., Urakaze M., Kishida M., Kibayashi E., Sato A., Yamazaki K., and Kobayashi M.: The inhibitory effect of adiponectin on the IL-8 synthesis induced by TNF-alpha in human aortic endothelial cells. 64th Scientific Sessions of the American Diabetes Association, 2004, 6, Orlando, Florida.
- 80) Ishizuka K., Usui I., Iwata M., Hiratani K., He J., Kanatani Y., Sasaoka T., and Kobayashi M.: Pioglitazone inhibits induction of SOCS1 and SOCS3 mRNA. 64th Scientific Sessions of the American Diabetes Association, 2004, 6, Orlando, Florida.
- 81) He J., Usui I., Hiratani K., Ishizuka K., Kanatani Y., Sasaoka T., and Kobayashi M.: Mechanisms of interleukin-1 α -induced-insulin resistance in 3T3-L1 adipocytes. 64th Scientific Sessions of the American Diabetes Association, 2004, 6, Orlando, Florida.
- 82) Sasaoka T., Aota R., Azegami M., Wada T., Fukui K., Iwata M., Usui I., Tsuneki H., Kimura I., and Kobayashi M.: Treatment with TNF- α for short and long time periods differently regulates mitogenic signaling of insulin in rat aortic smooth muscle cells. The 6th Insulin Action Symposium, 2004, 9, Kyoto.
- 83) Fukui K., Sasaoka T., Wada T., Ikubo M., Nagira K., Kagawa S., Ishihara H., and Kobayashi M.: Expression of SHIP2 in the liver has an impact on glucose metabolism by regulating hepatic gene expression without affecting insulin actions in the skeletal muscle and fat tissue of diabetic db/db mice. The 6th Insulin Action Symposium, 2004, 9, Kyoto.
- 84) Yamaguchi M., Takada R., Kambe S., Yamazaki K., Kobayashi M., Takada E., Honda N., Tsutsui H., and Kaseda C.: Consideration of physical condition in estimation of blood glucose level via data mining. 26th Annual International Conference of the IEEE Engineering in Medicine and Biology Society, 2004, 9, San Francisco.
- 85) Miwa T., Kashii T., Kawagishi Y., Oda H., Fujita T., Fujishita T., Arai N., Matsui S., Maruyama M., and Kobayashi M.: Long-lasting response to vinorelbine (VNR) in elderly patients with non-small cell lung cancer (NSCLC). 9th Congress of the Asian Pacific Society of Respiriology, 2004, 12, Hong Kong.
- 86) Kawagishi Y., Miwa T., Matsu K., Maruyama M., Taki H., Sugiyama E., Kashii T., Fujishita T., Oda H., and Kobayashi M.: Pulmonary rheumatoid nodules show positive in FDG-PET. 9th Congress of the Asian Pacific Society of Respiriology, 2004, 12, Hong Kong.
- ◆ その他
- 1) 小林 正: 総評; インスリン治療実践マニュアル (改訂第3版). 内科, 93:390, 2004.
- 2) 山崎勝也: IT活用による糖尿病医療ネットワーク、データマネジメントの実際. 第23回川崎糖尿病懇話会, 2004, 2, 川崎.
- 3) 佐藤 啓, 岸田みか, 川原順子, 小橋親晃, 岩田 実, 薄井 勲, 宇野立人, 山崎勝也, 笹岡利安, 浦風雅春, 小林 正: 当科糖尿病患者における虚血性心疾患症例の検討. 第10回富山県糖尿病研究会, 2004, 3, 富山.
- 4) 山崎勝也: 糖尿病患者のデータベース: 電子カルテCoDiCについて. 第2回看護ケアを考える会, 2004, 3, 富山.
- 5) 荒井信貴, 河岸由紀男, 丸山宗治: 喘息治療に関するアンケート (北陸三県). 第7回北陸喘息研究会, 2004, 3, 金沢.
- 6) 小橋親晃, 浦風雅春, 木林悦子, 岸田みか, 佐藤 啓, 山崎勝也, 小林 正: アディポネクチンのIL-8産生抑制作用とその機序の検討. 糖尿病合併症とVascular Biology 研究会, 2004, 3, 東京.
- 7) 松下 功, 杉山英二, 多喜博文, 松井祥子, 蓑 毅峰, 篠田晃一郎, 引網宏彰, 北林政子, 杉

- 政美雪, 杉本敬子, 室谷恵美子, 泉野よし子, 東海由香, 吉田百合子, 湯浅ゆき子, 前田暁子, 川合 宏, 新出敏治, 高寺詩乃, 安井智美, 矢後恵子, 結城博実, 奥村ますみ: 関節リウマチ短期教育検診入院について. 富山県リハビリテーション研究懇話会, 2004, 4, 富山.
- 8) 山崎勝也: 生活習慣病よもやま話. 健康セミナー「ゆとりの旅」相談会, 2004, 5, 富山.
- 9) 柳楽清文, 笹岡利安, 和田 努, 福居和人, 斎藤 滋, 小林 正: エストロゲンとTNF- α が脂肪細胞のインスリン作用に及ぼす影響の検討. 第23回北陸合同内分泌・代謝談話会, 2004, 5, 金沢.
- 10) 浦風雅春: 糖尿病合併高脂血症の治療. 第3回HCN氷見研究会, 2004, 6, 氷見.
- 11) 浦風雅春: 糖尿病合併高血圧の治療. 糸魚川市西頸城郡医師会学術講演会, 2004, 6, 糸魚川.
- 12) 多喜博文, 杉山英二, 小林 正, 本庄 茂, 金粕浩一: パスツレラ症の一例. 第15回富山難治性感染症研究会, 2004, 6, 富山.
- 13) 山崎勝也: 糖尿病とは. 富山市北保健福祉センター糖尿病教室, 2004, 6, 富山.
- 14) 藤下 隆, 鳴河宗聡, 岩田 実, 菓子井達彦, 藤田 聡, 三輪敏郎, 河岸由紀男, 小田寛文, 荒井信貴, 松井祥子, 丸山宗治, 小林 正: KL6が治療効果判定に有用と考えられた難治性放射線肺臓炎の1例. 間質性肺炎学術講演会, 2004, 6, 富山.
- 15) 岩田 実: 糖尿病について. 平成16年度大山町糖尿病教室, 2004, 6, 大山町.
- 16) 藤田 聡: 症例検討-症例1-. 第3回北陸呼吸器画像セミナー, 2004, 6, 金沢.
- 17) 松井祥子: たばこの害について. 早月中学校, 2004, 7, 滑川.
- 18) 佐藤 啓: 高脂血症について. 富山中央保健福祉センター, 2004, 7, 富山.
- 19) 山崎勝也: 合併症について. 富山市北保健福祉センター糖尿病教室, 2004, 7, 富山.
- 20) 和田 努, 浦風雅春, 山崎勝也, 佐藤 啓, 岸田みか, 宇野立人, 岩田 実, 薄井 勲, 笹岡利安, 小林 正: 高HDL血症を呈した2型糖尿病の一例. 第2回食後高血糖と高脂血症を考える会, 2004, 7, 富山.
- 21) 松井祥子: 禁煙指導の理論と実際について. 砺波厚生センター, 2004, 8, 福野.
- 22) 浦風雅春: 糖尿病合併高血圧の治療. 第296回高岡市内科医会学術講演会, 2004, 9, 高岡.
- 23) 山崎勝也: 合併症について. 富山市中央保健福祉センター糖尿病教室, 2004, 9, 富山.
- 24) 岸田みか, 平野恒治, 藤下 隆, 小橋親晃, 和田 努, 宇野立人, 岩田 実, 薄井 勲, 山崎勝也, 佐藤 啓, 笹岡利安, 多喜博文, 浦風雅春, 小林 正: 血糖値とHbA1cの解離を示した2型糖尿病の一例. 第6回富山生活習慣病を考える会, 2004, 9, 富山.
- 25) 杉山英二: 病態からみた関節リウマチの薬物療法について. 東三河リウマチ研究会, 2004, 10, 豊橋.
- 26) 山崎勝也: 生活習慣病の予防. 富山市北福祉センター「まちぐるみ健康づくり」交流会, 2004, 10, 富山.
- 27) 山崎勝也: 糖尿病療養指導士の役割と将来展望-富山県の活動状況をふまえて-. 第1回人吉・球磨地区糖尿病秋季セミナー, 2004, 10, 人吉.
- 28) 蓑 毅峰, 篠田晃一郎, 朴木博幸, 多喜博文, 杉山英二, 小林 正, 岡部由美子: 全身性エリテマトーデスに発症した多発性単神経症状の改善にアルプロスタジル使用が有効であった一例. 第14回北陸MMC研究会, 2004, 10, 金沢.
- 29) 石塚 健, 金谷由紀子, 賀 剣英, 岩田 実, 平谷和幸, 宇野立人, Agussalim Bukhari, 薄井 勲, 小林 正: インスリン抵抗性発症におけるSOCSの働き. 第11回インスリン抵抗性研究会, 2004, 10, 富山.
- 30) 杉山英二: 関節リウマチにおける検査とその臨床的意義について-血清MMP-3値を中心に-. 第37回中国四国医学検査学会(ランチョンセミナー), 2004, 11, 広島.
- 31) 浦風雅春: 糖尿病合併高血圧患者におけるARBの有用性. 下新川郡医師会学術講演会, 2004, 11, 黒部.
- 32) 藤下 隆: 当科におけるイレッサ1st line投与例の検討. 第9回富山肺癌化学療法セミナー, 2004, 11, 富山.
- 33) 岩田 実, 小林 正: 糖尿病, 高血圧を合併し, 胸部異常陰影を呈した1例. 富山県内科医会CPC, 2004, 11, 富山.
- 34) 岩田 実: 糖尿病の予防について. 平成16年度大山町糖尿病教室, 2004, 12, 大山町.